

1 特別の教育課程の概要

本校では、文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下記の時数を確保し、英語教育を推進しています。

英語を使って自分の本当の気持ちや考えを伝え合っている姿を最終ゴールに設定し、小学校1年生から児童の興味・関心や理解度に合わせて段階的に指導することで、6年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎となる力を育成することを目指しています。

学 年	1年	2年	3年	4年	5年(教科)	6年(教科)	総時数
年間時数	20	20	35	35	70	70	250
使用する教材	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book	教科書 My Book	

2 本校の教育目標

心身ともに健康で、自ら考え主体的に行動し思いやりのある心豊かな西俣っ子を育てる。

3 本校の令和2年度英語教育の実践について

(1) 1・2年生の取組

- ・ 外国と日本の言葉や生活、習慣、文化等の違いを知る。
- ・ 外国語を使って先生やクラスの友達と楽しくコミュニケーションを図る。
- ・ 外国語のリズムや音声に慣れ親しむ。

(2) 3・4年生の取組

- ・ 外国語を通して言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語の音声の違い等に気付く。
- ・ 言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの大切さを知る。
- ・ 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり、話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う。
- ・ 自分の考えや気持ちが伝わるよう、工夫して質問をしたり質問に答えたりする。
- ・ 身近な暮らしに関わる場面で使われる表現を取りあげてコミュニケーションをとったり、簡単な挨拶を交わしたりする。

(3) 5・6年生の取組

- ・ 日本語と外国語との違いに気付いたり、読むこと、書くことに慣れ親しんだりする。
- ・ 実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。
- ・ 身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って自分の考えや気持ちを伝え合う。
- ・ 音声で慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりする。
- ・ 自分のことや学校生活など、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、イラストや写真などと結びつける。(聞くこと)

- ・ 大文字か小文字かを識別する。(読むこと)
- ・ 身近な場面で簡単な質問をしたり短い会話をしたりする。(話すこと)

(4) 小中一貫教育について

- ・ 大始良中学校の英語教師による6年生への授業

(5) 校内研修体制について

- ・ 大始良小学校の研究授業(6年生)の参観と授業研究の参加

4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価(児童)の結果から

英語の授業は好きですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
好き	77%	100%	57%	62%	33%	54%
どちらかという好き	%	%	28%	25%	34%	46%
あまり好きではない	%	%	15%	13%	33%	%
好きではない	23%	%	%	%	%	%

(2) 自己評価(教員)の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
83%	%	17%	%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述, 一部抜粋)

- ・ 遊びを取り入れることで英語好きになってほしい。
- ・ 英語を聞くことに慣れ親しんでほしい。
- ・ 積極的に話しかけられる態度を身に付けてほしい。
- ・ 英語に慣れ親しんでほしい。
- ・ 特別なことではなくて、日常的なものであるという感覚を養ってほしい。
- ・ 人種を越えて誰とでも関わる力を養ってほしい。

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは、英語の授業が好きですか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
43%	43%	7%	7%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述, 一部抜粋)

- ・ 苦手意識がつかず異文化に対して柔軟に受け入れられるようになってほしい。
- ・ 語学向上につながるようになってほしい。
- ・ 英語で楽しくコミュニケーションがとれるようになってほしい。

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思う	思わない
100%	%	%	%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述、一部抜粋)

- ・ 英語を好きになってほしい。
- ・ 国際社会に参加する子どもになってほしい。
- ・ 英語に自然と慣れ親しんでほしい。
- ・ 授業にあたって、楽しく遊び心があるものと感じてほしい。

5 令和3年度 of 取組について

(1) 1・2年生の取組

- ・ 外国と日本の言葉や生活、習慣、文化等の違いを知る。
- ・ 外国語を使って先生やクラスの友達と楽しくコミュニケーションを図る。
- ・ 外国語のリズムや音声に慣れ親しむ。

(2) 3・4年生の取組

- ・ 外国語を通して言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語の音声の違い等に気付く。
- ・ 言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの大切さを知る。
- ・ 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う。
- ・ 自分の考えや気持ちが伝わるよう、工夫して質問をしたり質問に答えたりする。
- ・ 身近な暮らしに関わる場面で使われる表現を取りあげてコミュニケーションをとったり、簡単な挨拶を交わしたりする。

(3) 5・6年生の取組

- ・ 日本語と外国語との違いに気付いたり、読むこと、書くことに慣れ親しんだりする。
- ・ 実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。
- ・ 身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って自分の考えや気持ちを伝え合う。
- ・ 音声で慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりする。
- ・ 自分のことや学校生活など、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、イラストや写真などと結びつける。(聞くこと)
- ・ 大文字か小文字かを識別する。(読むこと)
- ・ 身近な場面で簡単な質問をしたり短い会話をしたりする。(話すこと)
- ・ スピーキングクエストによる指導と評価の充実を図る。

- (4) 小中一貫教育について
 - ・ 大始良中学校の英語教師による6年生への授業

- (5) 校内研修体制について
 - ・ 校内研究授業（5・6年）と授業研究の実施
 - ・ 近隣校の外国語の授業参観